

「同盟危機は日本に問題」

渡辺利夫氏が講演

名古屋「正論」懇話会の第16回講演会が26日、名古屋市中村区の名古屋マリriottアソシアホテルで開かれた。拓殖大学総長・学長の渡辺利夫氏が「四面楚歌の日本 打開の道」と題して講演し、「世界最強の米国との同盟を断ち切って日本が存在できるほど、今の極東アジア情勢は甘くない」と述べ、中国の軍事力増強などを念頭に日米同盟の重要性を強調した。写真（森本幸一撮影）。

渡辺氏は米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設問題をめぐる民主党政権の対応などが米国の不信を招いたと指摘。「日米同盟の危機は日本に問題がある。民主党の意思決定は悔やみきれない」と述べた。

集団的自衛権はすべての独立国家が持っている自然権だとした上で、「日本は憲法上許されないといって自縄自縛をやっている。異様な国家という自覚を持つべきだ」と強調した。

名古屋「正論」懇話会

